

令和 6 年度長野県森林づくり県民税 事業の内容及び目標

第 4 期森林づくり県民税の仕組み

令和 5 年度以降の森林づくり県民税については、「長野県森林づくり県民税に関する基本方針（令和 4 年 11 月公表）」に基づき、適正かつ有効な事業推進に努めてまいります。

1 使途

取組の柱、内容	金額（億円）
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	15.6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2050 ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林を若い森林に更新する再造林を加速化（植林と初期保育に必要な標準的な経費を全額補助） ・ 防災・減災のために整備が必要な里山の間伐について、引き続きその整備を支援 	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	6.8
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が自ら整備・利活用に取り組んできた里山について、多くの県民等が利用できる「開かれた里山」としての仕組みづくりや整備等を支援 ・ 多くの方が利用する施設等について木造・木質化を推進 ・ 学校林や「信州やまほいく認定園」におけるフィールド整備を支援 ・ まちなかの緑化や街路樹の整備などのグリーンインフラの整備を推進 	
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	2.6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業との連携による森林整備や、健康・教育・観光などに森林を活用する森林サービス産業に取り組む団体等の支援、森林セラピー・エコツーリズム等に携わる人材の育成など森林の多面的な利活用を支援 ・ 森林・林業に関わる人材の裾野拡大や、他産業との兼業など多様な林業の担い手の確保・育成を支援 	
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	9.0
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 期まで実施していた市町村毎の定額配分による森林づくり推進支援金については、森林環境譲与税との関係を整理したうえで、地域において必要度の高い事業に再編し、メニュー化して支援（支援内容：ライフライン等保全対策、河川沿いの支障木等伐採、観光地の景観や緩衝帯の整備、病害虫被害対策） 	
V 普及啓発、評価検証	0.4
合計	34.4

2 税の仕組み

課税方式	個人県民税及び法人県民税の均等割の超過（上乘せ）課税方式				
超過税額	(個人) 年額：500 円 (法人) 年額：現行の均等割額の 5%相当額（1,000 円～40,000 円）				
税収規模	区分	個人	法人	計	※令和 5 年度の森林税収入見込みを基準に試算
	年間 (平年度)	約 5.6 億円	約 1.3 億円	約 6.9 億円	
実施期間	令和 5 年 4 月 1 日から 5 年間 (個人) 令和 5 年度分から令和 9 年度分まで (法人) 令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日の間に開始する各事業年度分				

※ 個人の納税義務者は県民全員ではなく、県民税均等割を納めている方（県民の約半数）が対象であり、次のア、イ、ウのいずれかに該当し非課税となる方や、税法上の控除対象配偶者・扶養親族になっている方で次のウに該当する方には課税されません。

ア 生活保護法の規定による生活扶助を受けている方

イ 障がい者、未成年者、寡婦又は寡夫で、前年の合計所得金額が 125 万円以下の方

ウ 前年の合計所得金額が、市町村の条例で定める金額以下の方

森林づくり県民税活用事業 令和6年度(2024)当初予算 総括表

単位:千円

基本方針における区分	令和6年度実施内容	R6予算額	R5予算額	増減	備考
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり		330,780	241,800	88,980	
1 再造林の加速化	主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育を支援します。 信州の森林づくり事業(人工造林・初期保育の高上げ) ①再造林省力化モデル推進事業 ②再造林推進シカ捕獲サポート事業	174,580 161,580 10,000 3,000	93,600 93,600 - -	80,980 67,980 10,000 3,000	
2 防災・減災のための里山整備	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援します。 防災・減災のための里山整備	156,200	148,200	8,000	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり		153,162	129,390	23,772	
3 県民が広く親しめる里山づくり	・より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進します。 ・地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援します。 開かれた里山の整備事業 開かれた里山の整備・利用推進事業	79,472 56,000 23,472	55,590 34,400 21,190	23,882 21,600 2,282	
4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等	・民間施設等の木造・木質化等を支援し、県有施設の木造・木質化等を推進します。 ・小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援します。 ・県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進します。 あたりまえに木のあ る 暮らし推進事業	40,000 38,550 1,050 400	40,000 38,550 1,050 400	0 0 0 0	
5 やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等	・自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を支援します。 ・地域の里山や学校林を利活用して行う森林環境教育を支援します。 信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業 学びと育ちの森づくり推進事業	6,000 (14,710) 6,000 (8,710)	5,800 (12,030) 5,800 (6,230)	200 (2,680) 200 (2,480)	()内は再掲分 含む額 県民文化部 再掲(7の内 数)
6 まちなかの緑・街路樹の整備	・信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援します。 ・街中の緑地保全を推進及び支援します。 ・景観形成のための街路樹の整備・植樹を推進します。 まちなかの緑地整備事業 まちなかの緑地保全事業等 観光地の景観整備(県単道路橋梁維持修繕費)	27,690 4,000 13,690 10,000	28,000 6,000 12,000 10,000	▲310 ▲2,000 1,690 0	建設部 建設部 建設部
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援		60,766	39,593	21,173	
7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援	・健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援します。 ・森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等を行います。 森林サービス産業活動支援事業 森林サービス産業人材育成支援事業等 森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証を行います。 地球温暖化防止吸収源対策推進事業(長野県森林CO2吸収評価認証制度) 自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会を開催します。 信州ネイチャーセンター構築事業	39,561 33,669 5,892 252 2,000	25,854 19,116 6,738 309 1,900	13,707 14,553 ▲846 ▲57 100	環境部
8 多様な林業の担い手の確保・育成	林業を支える裾野の担い手となる事業者の確保のために必要な経費を支援します。 多様な林業の担い手確保育成事業	18,953	11,530	7,423	
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		215,350	205,887	9,463	
9 ライフライン等保全対策	市町村が実施する以下の取組を支援します。 ・ライフライン等保全のための支障木等の伐採 ・観光地の魅力向上に向けた森林整備 ・野生鳥獣による被害防止のための森林整備	175,300	166,512	8,788	
11 観光地の景観や緩衝帯の整備	・病害虫被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等 ライフライン等の保全対策	63,000	66,600	▲3,600	
12 病害虫被害対策	市町村森林整備支援事業 観光地の景観整備 緩衝帯の整備 森林の病害虫被害対策	24,300 28,000 60,000	24,192 15,660 60,060	108 12,340 ▲60	
10 河川沿いの支障木等伐採	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援します。 河畔林整備事業	40,050	39,375	675	建設部
V 普及啓発、評価検証		8,526	8,200	326	
13 森林づくりを推進するための普及啓発、森林税事業の評価・検証	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等を実施します。 みんなで支える森林づくり推進事業等	8,526	8,200	326	
合計		768,584	624,870	143,714	

令和6年度当初予算 森林づくり県民税活用事業一覧

事業区分		R6 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			備 考	
事業名	事業概要				基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の計画		
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり		330,780	241,800	88,980					
再造林の加速化	① 【信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)】 主伐・再造林等の加速化を図るため、 人工造林・下刈り等の初期保育を支援	161,580	93,600	67,980	再造林面積 (ha)	2,900	420	後年に向け予算 額、目標値ともに 増加していく想定	
	新 【再造林省力化モデル推進事業】 再造林の省力化を図るために必要な架線の 設置や自走式下刈り機のリース料等を支援	10,000	0	10,000					【新規】
	新 【再造林推進シカ捕獲サポート事業】 再造林後の森林の確実な更新を図るための 罠の見回りや機器の保守作業等を支援	3,000	0	3,000					【新規】
	小計	174,580	93,600	80,980					
防災・減災のための 里山整備	② 未整備の里山のうち、防災・減災のための 優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林 整備を支援	156,200	148,200	8,000	間伐面積 (ha)	1,500	400		
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり		153,162	129,390	23,772					
開かれた里山整備 事業	③-1 より多くの県民が里山の森林に親しむこと ができるよう「開かれた里山」の整備を推 進	56,000	34,400	21,600	県民が広く親 しめる里山整 備利用地域の 箇所数	50	10		
	③-2 地域住民等による里山の森林管理体制を確 立するため、整備・利用計画の樹立や資機 材導入等の活動基盤整備を支援	23,472	21,190	2,282					
	小計	79,472	55,590	23,882					
あたりまえに木の ある暮らし推進 事業	④-1 【広く県民が利用する施設等の木造・ 木質化】 民間施設等の木造・木質化等の支援、県有 施設の木造・木質化等の推進	38,550	38,550	0	木造・木質化 等の箇所数	55	11		
	④-2 【木工体験の推進支援】 小中学生等を対象とした木工教室などの木 工体験活動を支援	1,050	1,050	0					
	④-3 【長野県産材CO2固定量認証】 県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認 証や工務店等に対する認証制度の広報活動 を推進	400	400	0					
	小計	40,000	40,000	0					
やまほいくのフィー ルド整備や学校林の 整備等	⑤ 【信州やまほいく認定団体保育環境等向上 事業】 自然保育に係るフィールド等の整備を 行う認定園に対し整備費用を補助	6,000	5,800	200	フィールド整 備の箇所数	40	8	県民文化部	
	⑥ 【学びと育ちの森づくり推進事業】 ※地域の里山や学校林を利活用して行う森 林環境教育を支援	(8,710)	(6,230)	(2,480)	学校林整備等 の箇所数	30	5	※⑩-1の内数	
	小計	6,000 (14,710)	5,800 (12,030)	200 (2,680)				※⑩-1の内数の再掲 分を含む	
まちなかの緑・ 街路樹の整備	⑦ 【まちなかの緑地整備事業】 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に 基づく街中の緑地整備を支援	4,000	6,000	△ 2,000	緑地整備の 箇所数	10	2	建設部	
	⑧ 【まちなかの緑地保全事業】 街中の緑地保全の実施 (11,000千円) 【まちなかの緑地保全補助事業】 街中の緑地保全の支援 (2,690千円)	13,690	12,000	1,690	緑地の 保全延長 (km)	32	6.4	建設部	
	⑨ 【観光地の景観整備 (県単道路橋梁維持修繕 費)】 景観形成のための街路樹の整備・植樹	10,000	10,000	0	整備延長 (km)	20	5.8	建設部	
	小計	27,690	28,000	△ 310					

事業区分		R6	R5	前年比 (千円)	目 標			備 考	
事業名	事業概要	予算額 (千円)	予算額 (千円)		基本方針 の目標	5年間 の目標	R6年度 の計画		
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援		60,766	39,593	21,173					
森林サービス産業総合対策事業	⑩-1	【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	33,669	19,116	14,553	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数	50	10	【拡充】 森林サービス産業に関する一元的な情報発信や創業相談体制の整備等を新たに実施
	⑩-2	【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等	5,892	6,738	△ 846				
	小計		39,561	25,854	13,707				
地球温暖化防止吸収源対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評価認証制度)	⑩-3	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証	252	309	△ 57				
信州ネイチャーセンター構築事業	⑪	自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	2,000	1,900	100	エコツーリズムガイドの育成人数	25	5	環境部
多様な林業の担い手確保育成事業	⑫	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援	18,953	11,530	7,423	多様な林業に関わる新規就業者数	200	44	【拡充】 林業や就業に関するPR活動、業種の枠を超えたニーズのマッチングに向けた調査等を新たに実施
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		215,350	205,887	9,463					
市町村森林整備支援事業	⑬	【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	63,000	66,600	△ 3,600	整備箇所数	150	30	
	⑭	【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	24,300	24,192	108	観光地の景観整備箇所数	100	20	
	⑮	【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	28,000	15,660	12,340	緩衝帯の整備箇所数	100	38	
	⑯ ⑰	【森林の病虫害被害対策】 病虫害被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等	60,000	60,060	△ 60	枯損木利活用材積 被害木処理材積 (㎡)	10,000 5,400	2,000 1,080	
	小計		175,300	166,512	8,788				
河畔林整備事業	⑱	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	40,050	39,375	675	整備箇所数	70	14	建設部
V 普及啓発、評価検証		8,526	8,200	326					
みんなで支える森林づくり推進事業	⑲	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等	8,526	8,200	326	-	-	-	
合 計 (a)		768,584	624,870	143,714					

※千円未満の四捨五入により合計が一致しない場合がある

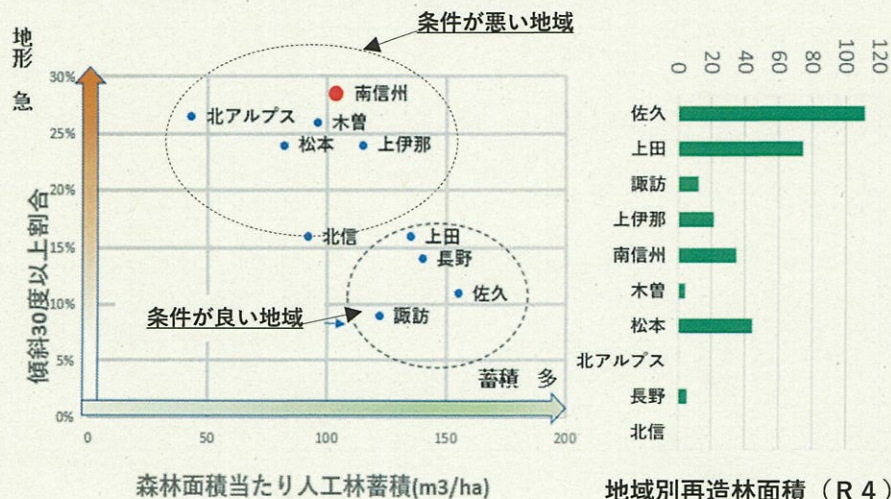
➤ 地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、「空の道」とも言われる架線を活用した主伐・再造林及び保育等に係る経費を支援

○ 補助率等

- ・事業主体：市町村、森林組合、生産森林組合、森林所有者 等
- ・補助率：定額、9/10
：架線の架設・撤去に係る支援 7,000千円、自走式下刈り機等のリース支援 3,000千円
- ・事業目標：森林税を活用した再造林面積 420ha

1 主伐・再造林を進める上での課題

- 南北に広い県内は地域によっては、地形が急峻で森林作業道の開設が困難であることから、主伐後の再造林等の推進に地域差が生じている
- 主伐時に搬出されなかった枝条等が林地に残され、有効活用されず、再造林の際、植栽の支障となっている
- 再造林が進んでいる地域では、下刈り等の保育作業が担い手不足により、再造林に支障が生じている



課題に対応するため、県内でモデル的に実施

2 取組内容

- 架線を活用した資材運搬等により再造林の効率化
- 架線を活用した全木集材による資源の有効活用
架線等を活用し、一貫作業による主伐から再造林までの実施及び再造林に必要な苗木、資材等の運搬を行う場合、架線の架設に係る標準的な経費の一部を支援



- 自走式下刈り機や苗木運搬機械等による省力化・労務軽減化
植栽・下刈り等の省力化に資する自走式下刈り機等のリース料の一部を支援



人力からの転換による省力化



➤ 二ホンジカ等の食害から植栽後の苗木を守るため、林業事業体が捕獲者と連携して行うわなの見回りやICT機器の保守作業等の活動経費を支援

○ 補助率等

- ・事業主体：市町村
- ・補助率：10/10以内
：「林内捕獲サポート隊」が行うわなの見回り等の捕獲補助活動経費への支援 3,000千円
- ・事業目標：森林税を活用した再造林面積 420ha

1 主伐・再造林を進める上での課題

○二ホンジカの生息密度の高い地域では、植栽後の若い苗木の二ホンジカによる食害を柵等による防護対策だけでは防ぎきれない。

○食害を受けるリスクから主伐・再造林への意欲が低下している。



引きちぎられた枝葉

○わなを設置して捕獲圧を高めることが有効だが、捕獲者にとっては、毎日見回りを行う必要があり、負担が大きい（特に奥山）。



奥山でのわなの見回り

課題に対応するため、市町村の活動を支援

2 取組内容

◎市町村が組織する「林内捕獲サポート隊」の活動を支援

二ホンジカ等の捕獲圧を高め食害リスクを低減するため、市町村が林業事業体の職員等で構成する「林内捕獲サポート隊」を設置し、わな設置後の見回り等を実施する。県はその活動に要する経費を支援する。

○支援内容（県→市町村）

- ・林内捕獲サポート隊が行う、わなの見回り等の捕獲補助活動※に要する経費
- ・林業事業体職員への安全作業の研修経費
- ・捕獲者や林業事業体と活動内容及び活動体制を調整するための技術的指導

<※捕獲補助活動の内容：狩猟免許がなくても実施可能な活動>

- ・わなの見回りや給餌、併せて行う機器やシカ柵の点検
- ・シカが捕まっていた場合に捕獲者へ連絡

